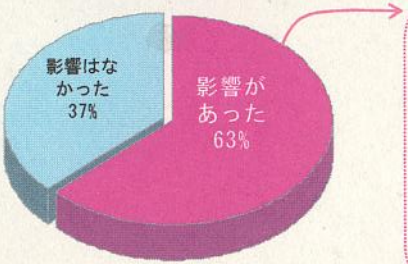
## 3. 道路利用者・周辺地域への影響

【道路利用者への影響】

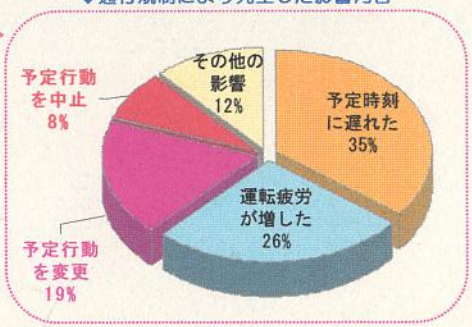
**道路利用者へのアンケート調査によると、運行に影響があった割合は63%で、そのうち27%が、「予定行動を変更(19%)」又は「予定行動を中止(8%)」したと回答。**

●道路利用者に対し、今回の通行規制による影響をアンケート調査した結果、通行規制により影響を受けた人が６３%。影響内容は、「予定時刻に遅れた」が３５%と最も多く、次いで「運転疲労が増した」が２６%、「予定行動を変更」が１９%、「予定行動を中止」が８%。

◆通行規制による影響の有無




◆通行規制により発生した影響内容




資料：道路利用者アンケート調査（国土交通省東北地方整備局道路計画第二課）
（路側でのアンケート配布・郵送回収（途中集計結果４５３票））

【地域への影響】

**地域への影響としては、観光客のキャンセル、物流の手段・経路変更、小中学校の休校など各方面への影響が発生。**

●山形県が庄内地域の主要な施設、企業などにヒヤリング実施した結果、観光施設の来客者のキャンセルが発生したほか、物流面では運搬手段や経路を変更。また、教育関係では小中学校において自宅待機措置がとられるなど、各方面へ影響が発生。

| 分野 | 影響の内容 |
|---|---|
| 観光業 | ・鶴岡市内の主要な温泉地や宿泊施設では、７月１４日～１７日宿泊者のキャンセルが発生。<br>・鶴岡市内の物産館では、７月１４日、１５日で、北陸方面からの食事などのバス団体予約がキャンセル。 |
| 製造業 | ・酒田市内の製造業の工場では、大阪方面の納期が迫っている荷について、JR コンテナ輸送を酒田から堺までトラック輸送に切り替え。納期に時間があるものについては、新潟までトラック輸送し、新潟から JR コンテナ輸送に切り替え。 |
| 運送業 | ・酒田市内の運送会社Ａでは、JR コンテナ利用の北海道、京浜向けの食料品を、酒田から宮城までトラック輸送し、宮城から JR コンテナ輸送に切り替え。１５日から新潟までトラック輸送し、新潟から JR コンテナ輸送に切り替え。<br>・酒田市内の運送会社Ｂでは、京浜や南方面については、新潟までトラック輸送し、新潟から JR コンテナ輸送に切り替え。 |
| 教　育 | ・温海中学校では、７月１４日、１１５名の生徒を自宅待機とした。<br>・鼠ヶ関小学校では、７月１４日、５６名の児童を自宅待機とし、登校児童も昼で早退させた。<br>・７月１８日からは、通常通りの授業実施。 |

資料：山形県庄内総合支庁による聞き取り結果より；H18.7.14～18にかけて実施